

(別紙)

「東北地域における暑熱対策 web セミナー」開催要領

1 開催目的

近年、地球温暖化等の影響で、東北地域においても夏季は災害級の猛暑日が続き、高温による生育不良が様々な作物で発生している。更に、猛暑は農作業中の熱中症にもつながるなど、農業における高温対策は必要性を増している。また、農業に係る気象観測データの活用及び各種予報・注意報・警報の適切な伝達を行い、もって農業の適正な指導を期することは、東北地域における農業生産の安定を図るうえから重要である。このため、仙台管区气象台、東北農政局及び農研機構東北農業研究センターが協力し、農業従事者等に対し、農業分野における暑熱対策について関係者において広く取り組まれるよう、暑熱対策に関する情報共有及び意見交換を行うものである。

2 開催日時

令和8年6月16日(火) 13:30~15:40

3 開催方法

Web開催 (Microsoft Teams)

4 内容

(1) 近年夏の高温及び令和8年夏の季節予報について (13:35~13:55)

仙台管区气象台 気象防災部 地域防災推進課 南 敦

(2) 令和7年地球温暖化影響調査レポートについて (13:55~14:15)

農林水産省 農政局 農業環境対策課 野越 満治

(3) 農作業中の熱中症対策について (14:15~14:30)

農林水産省 東北農政局 生産部 環境・技術課 深澤 東和

(4) 作物別の暑熱対策 (14:30~15:30)

① 水稲「高温の可能性を早期に得るには~気象庁「2週間気温予報」資料を用いた通年/夏季向け情報発信の取り組み~」(14:30~14:50)

農研機構 東北農業研究センター 大久保 さゆり

② 野菜「露地野菜における温暖化対応」(14:50~15:10)

農研機構 野菜花き研究部門 松永 明子

③ 果樹「オウトウなど果樹における温暖化対応について」(15:10~15:30)

農研機構 果樹茶業研究部門 杉浦 俊彦

(5) 意見交換 (15:30~15:40)

5 参加者

暑熱対策に関心のある者

(農業者、農業者団体、民間企業、県・市町村、公設試験研究機関、報道機関 等)

6 定員

200名程度

7 参加申込方法

WEBによる事前登録制

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/tohoku/form/kankyo/260525.html>

8 連絡先

東北農政局生産部環境・技術課

TEL:022-221-6193